

VI 加西の自然・環境学習

本章では、加西市の自然環境の特長について簡単に説明し、加西の自然環境を守るための施策や、環境学習について紹介しています。

1 加西の自然環境の特徴

加西市の北部には古生層の山地が、中央部には青野ヶ原台地や鶉野台地が、南部には中世代の山地が広がっています。また、加西市は加古川の支流域に位置し、万願寺川をはじめとする大小多くの河川が下流域の住民の生活基盤となっています。

さらに、瀬戸内式気候の影響で冬季の降水量が少なく、古くから水資源に恵まれなかったため、約 1,000 ヶ所のため池が築造され、全国でも有数のため池密集地帯となっています。このことから、ため池に生息・生育する水生生物は種数が多く、「兵庫県版レッドデータブック」に記載されている貴重な水生生物も多い地域となっています。

ため池を中心に周辺の水路・河川・農地・里山に様々な生き物が生息・生育しており、加西市の里地里山一帯が多様な生態系を持つ地域となっています。

・レッドデータブック(RDB)とは？

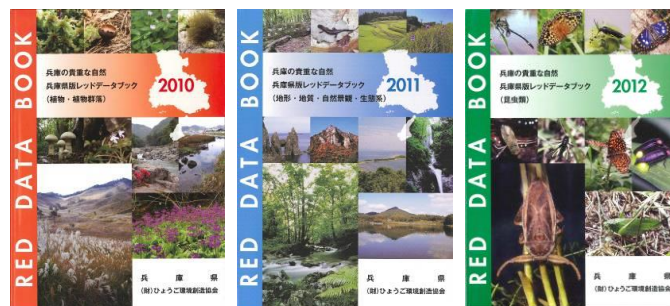
絶滅のおそれのある野生動植物をリストアップし、その現状をまとめた報告書です。

世界的には、1966年に国際自然保護連合（IUCN）が、哺乳類と鳥類について世界的な規模で絶滅のおそれのある種をリストアップした報告書を公表し、以後改訂が続けられています。

我が国においても（公財）日本自然保護協会他が「わが国における保護上重要な植物種の現状（1989）」、環境庁（現環境省）が「日本の絶滅のおそれのある野生生物（1991）」として、^{せきつゐ}脊椎動物編及び^{むせきつゐ}無脊椎動物編を公表しました。

・兵庫県版レッドデータブックとは・・・

兵庫県では 1995 年に他県に先駆けて、「兵庫の貴重な自然—兵庫県版レッドデータブック—」を公表しました。その後 2003 年に改訂版が公表され、さらに 2009 年度に策定された「生物多様性ひょうご戦略」にもとづき、2010 年より改訂作業が進められています。



2011 年「地形・地質・自然景観・生態系」

2012 年「昆虫類」

2013 年「鳥類」

2014 年「貝類・その他無脊椎動物」

2017 年「哺乳類・爬虫類・両生類・魚類・クモ類」

2020 年「植物・植物群落」

2 生物多様性かさい戦略推進事業

(1) 生物多様性かさい戦略

人手が加わらない原生的自然と、人の暮らしと結びついた田んぼ・ため池・里山が育む二次的自然が共存している加西市の貴重な自然環境を守り、その恩恵を持続的に享受し、未来の子供たちに伝えていくことを目的として、生物多様性基本法に基づく「生物多様性かさい戦略」を策定し、生物多様性の保全を進めています。

(2) 加西市野生生物保護地区の保全

① 加西市民の美しい環境をまもる条例に基づき、野生生物保護地区を指定しています。

指定年月日	指定番号	名称	所在地
平成 26 年 6 月 1 日	第 1 号	網引湿原野生生物保護地区	網引町の一部
平成 26 年 6 月 1 日	第 2 号	周遍寺野生生物保護地区	網引町の一部
平成 26 年 6 月 1 日	第 3 号	糠塚山野生生物保護地区	網引町の一部

② 野生生物保護地区保全事業

地域における生物多様性の保全再生に資する取組等に必要な経費の一部を市が交付することにより、地域における先行的・効率的な活動を支援し、全体の生物多様性の保全・再生を着実に進めることにより自然共生社会づくりを推進します。

※森林環境譲与税を充当

■令和 3 年度 周遍寺野生生物保護地区でカタクリの保全に支障となっている高木等の伐採を実施しました。

■令和 4 年度 周遍寺野生生物保護地区において、希少種である「カタクリ」の保全に向けて必要となる作業道の開設を実施しました。

③ 植生等の調査

- 平成 25 年 3 月、レッドデータブック等の既存文献から生態学的に重要とされる場所や絶滅危惧種の生息状況から重要な場所を 48 か所抽出整理し、「加西の重要な生態系」を策定しました。
- 平成 28 年 12 月、「加西の重要な生態系 48」の概要パンフレットを作成しました。
- 平成 26 年 6 月、市内 3 か所(網引湿原、周遍寺、糠塚山)において野生生物保護地区を指定。
- 平成 29 年度 網引湿原植生調査を実施。
- 令和元年度 周遍寺植生調査(カタクリ)を実施。
- 令和 2 年度 普光寺植生調査及び年次計画書の作成。
- 令和 3 年度 年次計画書に基づき一乗寺など計 6 地点の植生等調査を実施。
- 令和 4 年度 「網引町の上池・下池」等 3 地点の植生等の詳細調査を実施。

(3) 兵庫県立人と自然の博物館と連携した環境学習ツアー

実施日	タイトル	参加人数
令和 4 年 8 月 25 日	化石のレプリカを作って標本にしてみよう	17 人